

●今月の法語カレンダー●
聞思して
遅慮することなかれ

新しい年を迎えます。これからの一日一日を漫然と過ごすことなく、今恵まれている命を精一杯生かさせていたかどうかを思いを新たにしています。しかし迷いの中にある私たちは、自らの力で真実に出会うことはできません。阿弥陀さまのみ教えを聞くことで、進むべき道が明らかになるのです。「聞思」とは、人生のよりどころを明らかにする言葉を聞くことを通して、自ら問いを持ち、考えることの大切さを示します。一年の始まりにあたり、お聴聞中心の日々を心に誓い、本当の安心を得たいものです。

1月の予定

- 1日(土)午後2時 「元旦会」 新年の初詣は、お寺にお参り下さい
- 2日(日)午前7時 朝の日曜礼拝
- 7(金)午前11時 れんげ会「新年会」



- 8日(土)午前10時 納骨堂合同参拝
- 8日(土)午後2時 グランドゴルフ (駐車場)
- 9日(日)午前7時 朝の日曜礼拝
- 12日(水)午後12時半 ヨーガ教室
- NEW 12日(水)午後1時半 囲碁クラブ
- 16日(日)午前7時 朝の日曜礼拝

- 18日(火)午後2時 踊り教室
- 20日(木)午前11時 写経会
- NEW 20日(木)午後12時 抹茶を楽しむ会
- 20日(木)午後1時半 定例法座
- 「講師」加戸利円師(東京)
- 22(土)午後3時 壮年会
- 「親鸞聖人の教え」を学んでいます
- 23日(日)午前7時 朝の日曜礼拝
- 23日(日)午後3時 雅楽教室
- 25日(火)午後2時 グランドゴルフ (駐車場)
- 25日(火)午後2時 踊り教室
- 26日(水)午後12時半 ヨーガ教室
- NEW 26日(水)午後1時半 囲碁クラブ
- 30日(日)午前7時 朝の日曜礼拝

- 31日(月)午前9時 ボラン寺(寺報発送作業)
- お手伝いをお願いします

毎週日曜午前 ふれあい農園作業

2月の予定

- 5日(土)午前10時 納骨堂合同参拝
- 10(木)午後1時半 れんげ会
- 20日(日)午後1時半 定例法座
- 26日(土)午後3時 壮年会
- 28日(月)午前9時 ボラン寺(寺報発送作業)

れんげ会(婦人会)・壮年会
会員募集中です!
寺友の輪を広げましょう!

行事はすべて参加自由です
どうぞお参りください

「元旦会」

光壽無量

あけましておめでとうございます

新しい年を迎えるにあたり、心も新たに、門信徒の皆さまとともに元旦のお参りをいたしましょう。本当の教えに出会うことは「生きる」ことから、「生かされる」ことへの大転換です。亡き方々のお導きをいただき、今年もみ教えを聞くご縁を広げていただきたく念じ上げます。「元旦会」はすがすがしくも厳粛な法要となります。元旦にはぜひご家族揃って、お寺へお参り下さい。

「元旦会」法要次第

平成23年1月1日(土) 午後2時より 天真寺本堂にて
「讃仏偈」おつとめ 「御文章」「元旦章」拝読 祝膳
[持ち物] お念珠 式章 お経本



おめでとうございます
—ようこそお参り下さいました—

【啓勤賞】
佐々木勝子・林由美子・松井悦子

【精勤賞】
石川千代子・大枝義一・河野悦子・木内元恵・鈴木いとゑ・鶴丸延子 (敬称略・五十音順)

お寺では定例法座の始まりに、「聴聞の心得」を唱和します。

- 一、この度のこのご縁は初事と思ふべし
- 一、この度のこのご縁は我一人の為と思ふべし
- 一、この度のこのご縁は今生最後と思ふべし

聴聞のご縁を慶び、私を育み、生きる道を確認にしてくる仏さまのみ教えに遇わせていただきましょう。



「年回表」

平成二十二年度

- 一周忌 平成22年 (2010)
- 三回忌 平成21年 (2009)
- 七回忌 平成17年 (2005)
- 十三回忌 平成11年 (1999)
- 十七回忌 平成7年 (1995)
- 二十五回忌 昭和62年 (1987)
- 三十三回忌 昭和54年 (1979)
- 五十回忌 昭和37年 (1962)
- 百回忌 明治45年 (1912)

ご法要の相談は、早めにお願ひします。日の善悪ではなく、家族そろってお参りできる日をお選び下さい。



今年も
ごきげんよう
お願ひします

■住職 西原恵照

年かさね



自然に託す

今朝の春

今年はお親鸞聖人750回大遠忌法要が勤まりますが、天真寺の前身であります法照山「浄円寺」の創建より296年、天真寺開基40年目の節目にあたります。この長き年月をかけて私の元に伝えて下さったお念仏。ウサギのように耳をそばだて皆さまと共に聴聞させていただくこと、何より有り難いことでもあります。

■副住職 西原龍哉

元日や

今日ののちに

遇う不思議

(木村無相)

一口法話

「傾聴」の

いろ



「高齢者や障害者のために自分の時間を差し出し、できる範囲の手助けを行おう」という目的で浄土真宗のお坊さんたちで立ち上げた「プロジェクトダーナ東京」。現在私はその活動に関わり、老人ホームでの傾聴ボランティアをしています。「傾聴」とは聞き慣れない言葉ですが、ひたすらお話を聞かせていただくというボランティアです。

傾聴ボランティアの大切なところは、「相手の話を否定しないでありのままに受けとめて聞く」ということ。

実は傾聴を始めるまでは簡単な事だろうと思っていました。体験してみると、これがなかなか難しいものです。日常生活での、自ら

限りないおかげさまをいただいで生きていくの瞬間に感謝をして、一日一日を大切に過ごしていきたいと思ひます。

■坊守 西原悦子

阿弥陀さまの願いを聞く、今まで当たり前と思っていたことが、おかげさまであつたと気づかされます。感謝の日々を皆さまと共に歩ませていただきたいと思ひます。



■前坊守 西原敏子

両親の縁により命をいただき、み仏と皆さまそして家族の慈しみの中で卒寿の春を迎えました。有り難うございます。

■衆徒 山口武典(典証)

おめでとうございます。古希となつて新年を迎えました。老病をご縁として南無阿彌陀佛をいただく日暮

らしを願っています。

■衆徒 西原静香

いよいよ今年4月から、親鸞聖人750回大遠忌法要が本山で厳修されます。遇いがたいご勝縁を慶び、ぜひお参りさせてください。ましよう。

■衆徒 西原大悟

「学仏大悲心」を心に、おかげさまで京都にて勉学させていただいています。これからもますます励んでいきたいと思ひます。

■衆徒 名種木乃実(唯果)

子どもの頃、前任職の伯父に仏さまへの姿勢だけは厳しく諭されました。お念仏を慶んでいた伯父の姿は、今の私の大きなご縁でありました。仏法の中にある毎日を生かさせていただきます。



のいい加減な「聞き方」を思い知らされました。

例えば、「昔は大変だったんですよ」という話を聞いた時の答え方。皆さんならどう答えるか考えてみてください。

①話の腰を折る

そうそう、私も苦労ばかりの人生でした。…と自分の体験を話してしまつた。

②自己流に聞く

その位の苦労は、まだまだです。…私の方が苦労をしているんだから。

③興味がないから、ほとんど聞いていない…。

これらは傾聴ボランティアの講習会で学んだ、悪い回答例です。しかし考えてみると、普段はこういう聞き方をしてしまっていると思ひ当たります。つまり、自分の物差しでお話を聞いているのです。



一緒に傾聴をしている友人から先日聞いた話です。お話をさせていたかどうかとすると、ある年輩のご婦人が、「早く迎えに来てほしい」と言われる。こう言われると、答えに窮します。しかし、その友人はちよつと天然ボケ。「迎えに来てほしい」と言われ、「大丈夫、午後5時にはお迎えが来ますよ」と答えたそう。するとその方はビックリして、無言になってしまいました。聞けば、友人はデイケアのバス送迎のことと勘違いしていたとのこと…。



その方は、本当に迎えに来てほしい、つまり死にたいと思つていたのでなく、その言葉を通して家族間がうまくいっていない不満の気持ちを表していたのです。日本には「以心伝心」という言葉があります。これは、無言のうちに心が通じ合うという意味です。言葉

天真寺の墓地

「大町やすらぎパーク」

北総線「大町」駅から徒歩3分の好立地です。ご希望の方は、お気軽にご相談下さい。



完成しました!

「永代合葬墓」



やすらぎ堂
大町やすらぎパーク内
納骨懇志20万円から

あんん堂



京都大谷本願内
納骨懇志30万円から

永代にわたり天真寺が護持いたします。以後の管理料等は一切かかりません。お念仏の心を次の世代に伝える依りどころとして…。跡継ぎがない方には、安心をかたちにして…。生前予約も承ります。

ではなく、相手の様子から気持ちを探る、言葉を超えた会話です。心を通わせることの難しさを思いながらも、ボランティアを通して、たくさんの方に触れ合っている、多くのことを学ばせていただく日々です。

(メリシヤカ掲載原稿 龍哉)

天ちゃんの一言



楽しくお寺参りができる一年となりますよう願ひいたします。ナムナム 合掌

門信徒会入会のご案内

どなたでも入会いただけます。毎月、寺報と仏教冊子をお送りします。年会費3千円。

(発行元)

浄土真宗本願寺派 天真寺

千葉県松戸市金ヶ作106

047-389-0808

【ホームページ】

http://www.tenshin.or.jp